

エアウォーター アニュアルレポート2014 2014年3月期

PLOTTING OUT FURTHER GROWTH

 **エアウォーター株式会社**



アニュアルレポート
2014
2014年3月期

经营理念



創業者精神と誇りを持って

空気、水、地球、そして人にかかわる

事業の創造と発展に、英知を結集する

CONTENTS

CEOから皆様へ..... 02	事業紹介	組織図..... 26
事業概況..... 04	産業ガス関連事業..... 12	主要関係会社一覧..... 27
特集企画..... 06	ケミカル関連事業..... 14	沿革..... 28
	医療関連事業..... 16	会社情報/役員/投資家情報..... 29
	エネルギー関連事業..... 18	
	農業・食品関連事業..... 20	
	その他の事業..... 22	
	研究・開発..... 24	

表紙ビジュアルコンセプト

2014年アニュアルレポートのコンセプトは「事業と事業、事業と社会、事業と地域が共鳴し合い、シナジーを発揮しながらさまざまな事業を創造していく姿」です。



連結経営指標(5期比較)

エア・ウォーター株式会社 決算日 3月31日

	百万円					千米ドル (※注)	増加 (減少)
	2014	2013	2012	2011	2010	2014	2014/2013
売上高	¥641,256	¥540,016	¥492,680	¥471,810	¥426,357	\$6,230,626	18.7%
売上原価	517,202	429,862	380,536	359,560	320,758	5,025,282	20.3
販売費及び一般管理費	88,977	82,257	80,472	80,981	77,397	864,526	8.2
営業利益	35,077	27,897	31,672	31,269	28,202	340,818	25.7
経常利益	36,275	35,156	33,602	32,959	29,020	352,458	3.2
当期純利益	19,219	18,366	17,167	11,680	13,916	186,737	4.6
包括利益	25,151	21,197	16,005	11,293	—	244,374	18.7
総資産額	528,092	484,329	430,547	407,639	392,759	5,131,092	9.0
純資産額	219,622	199,212	182,700	169,127	163,950	2,133,910	10.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,249	30,057	39,662	32,576	44,593	468,801	60.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	(52,187)	(42,501)	(28,695)	(34,766)	(25,820)	(507,064)	22.8
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,620	10,254	(7,612)	(1,592)	(20,615)	44,889	(54.9)
現金及び現金同等物の期末残高	20,751	19,470	21,562	18,131	21,529	201,623	6.6

1株当たり情報	円					米ドル (※注)	
	2014	2013	2012	2011	2010	2014	2014/2013
1株当たり当期純利益	¥98.29	¥94.04	¥89.35	¥61.24	¥73.64	\$0.96	4.5
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	98.08	93.87	87.21	59.56	70.03	0.95	4.5
1株当たり配当額	26.00	24.00	22.00	22.00	22.00	0.25	8.3
1株当たり純資産額	1,040.94	949.63	873.78	822.05	789.89	10.11	9.6

※注 米ドルへの換算額は、主として読者の便宜を図るために記載しており、2014年3月31日現在の為替相場1ドル=102.92円で換算しております。



見直しに関する注意事項(事業などのリスク)

このアニュアルレポートに記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した情報であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化によって、実際の業績は、記載されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。リスクとなる可能性のある主なものは次の通りです。

- 大口顧客の重点市場である東アジアの需要動向の大きな変化
- LPG、灯油のCP価格、原油高騰などによる価格転嫁の進捗状況
- 原油高騰による軽油費、燃油費、船舶利用費、航空利用費などの輸送原価の増大
- 冷凍食品事業における原材料価格の高騰
- 薬価・診療報酬の改定による医療用ガス、医療サービスの売上低下や利益圧迫
- 生産過程や製品の欠陥、事故などの発生によるリスク
- M&Aなど事業投資が計画から乖離することにより発生するリスク
- 事業の拡大やコスト削減などで競合会社への対応が遅れた場合のリスク
- 環境規制の強化が図られた場合の対応コストの増大
- 自然災害によるリスクなど

このアニュアルレポートに記載されている決算情報は、2014年3月期およびそれ以前の決算期のもですが、その他の情報に関しては、このアニュアルレポートの編集が終了した2014年8月31日時点で掲載しています。

11期連続の増益を達成し 「NEXT-2020 Ver.2」の1年目として 順調なスタートを切ることができました。

2014年9月
代表取締役会長・CEO

青木 弘



●2013年度の総括

当期(2014年3月期)の国内経済は、政府の積極的な経済対策を背景として、円高是正とともに輸出環境の改善が進み、堅調な内需と併せて緩やかながらも景気は回復に向かいました。製造業の設備投資も回復基調となり、消費税率引き上げ前の需要増による好調な内需にも支えられながら、国内製造業には全般的に回復感が広がりました。

このような経営環境のもと、当社グループでは長期経営ビジョン「NEXT-2020」の第2ステップとなる中期経営計画「NEXT-2020 Ver.2」に沿って、独自の経営戦略である「全天候型経営」と「ねずみの集団経営」を推進しました。その結果、連結売上高は、6,412億5千6百万円(前期比118.7%)と過去最高を更新することができました。

また、利益面においても、営業利益は350億7千7百万円(同125.7%)、経常利益は362億7千5百万円(同103.2%)、当期純利益は192億1千9百万円(同104.6%)と、いずれも増益となりました。特に経常利益については、11期連続の増益を成し遂げることができました。

事業分野別に見ると、電気料金をはじめとするコストの上昇や事業環境の悪化などから、産業ガス関連、ケミカル関連が増収・減益となった一方で、医療関連、エネ

ルギー関連、農業・食品関連などの生活者向けビジネスは、売上・利益とも順調に拡大し、グループ全体の業績をけん引しました。また、ゴールドパック(株)、阿部電材(株)、エア・ウォーター・メディカル(株)、(株)医器研、ヘルスケアテック(株)、日農機製工(株)、アクアインテック(株)など新たにM&Aした企業群も、業績の伸長に貢献しました。

以上、「NEXT-2020 Ver.2」は、1年目として順調なスタートを切ることができたと評価しています。

●2014年度の業績見通し

次期(2015年3月期)は、各種の景気刺激策による消費の回復をはじめ、内需は堅調な拡大が予想され、また米国景気の拡大と新興国の景気回復により輸出の拡大が期待されることから、国内の景気は緩やかに回復するものと思われます。しかしながら一方で、海外経済の下振れ、地政学的リスクの高まりなど、国内製造業を取り巻く環境は、予断を許さない状況が続くと想定しています。

こうした見通しのもと、当社グループは、どのような厳しい局面においても着実な成長を築き上げてきた「全天候型経営」と「ねずみの集団経営」を、次期も一層力強く推進してまいります。M&Aによる既存事業の強化と新規

事業の創出をめざすとともに、当社ならではの事業間シナジーを発揮することで、「NEXT-2020 Ver.2」の2年目を確実に実行してまいります。

以上により、次期の通期業績見通しは、売上高6,700億円(同104.5%)、営業利益380億円(同108.3%)、経常利益は390億円(同107.5%)、当期純利益は205億円(同106.7%)を予想しています。

●中長期での重点課題と取り組み

当社グループが長期経営ビジョン「NEXT-2020」の達成に向け、今後も持続的な成長を成し遂げていくために、以下のような重点課題を設定し取り組みを進めてまいります。

第一は「産業ガス事業の事業構造強化」です。現在の産業ガス業界は、かつてないほどの激しい環境変化の中にありますが、それはまた大きなビジネスチャンスでもあると捉えています。今後も中長期的視点から省エネプラントの技術開発や建設に積極的な投資を行い、持続的な収益確保に努めます。また、特殊ガスのアプリケーション技術から生み出された独自開発によるSiC基板量産化技術を代表とする次世代技術の開発にも注力してまいります。

第二に「地域に根ざした新事業の拡大」です。そのモデ

ルケースとなるのが「信州に集積するエア・ウォーターの事業」(特集1参照)であり、今後も各地域のグループ企業の特長と地域特性とのマッチングによって独創的な新規事業を各地で生み出してまいります。

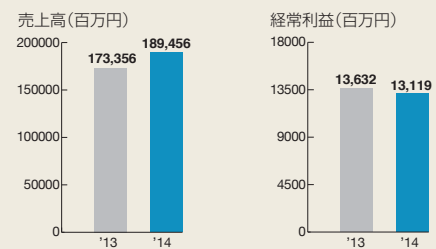
第三に「生活系事業分野の拡大」です。「2020年度に1兆円企業」という目標を達成するには、非産業系(生活系)ビジネスの拡大によって事業構造を転換していくことが大きな鍵となります。今後も引き続き、生活系分野でのビジネス拡大に注力してまいります。

第四に「M&Aによる新たな展開」です。1兆円ビジョンという高みに到達するには、既存事業の枠組みを超えたM&A戦略が必要になります。これまで当社が蓄積してきたM&Aのノウハウを生かし、今後も新たな仲間をグループに迎え入れ、個々のねずみが互いに助け合い、協力し合ってグループ全体を活性化し続ける「ねずみの集団経営」の推進により、さらなる発展をめざしてまいります。

皆様には引き続き、当社への温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

産業ガス関連事業

産業ガスは、高炉オンサイトが順調な内需の拡大を受け、高水準の酸素ガス供給となりました。溶接用ガス分野でも回復傾向にあり、エレクトロニクス向けも好調なモバイル関連にけん引され、全般的に堅調に推移しました。電気料金の値上がりにより製造コストの上昇が続いていますが、これを吸収すべく種々の合理化努力とともに産業ガス価格の改定に努めた結果、着実に進捗しました。



産業ガス関連事業

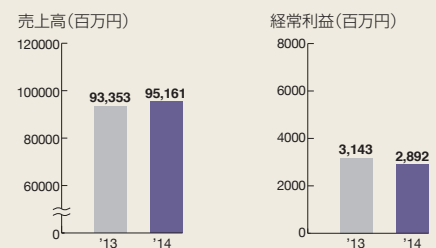


- ローリー・シリンダー
- VSU
- 大型オンサイト
- 中小型オンサイト
- 産業機材
- 特殊ガス/特殊化学品
- 電気・電子材料
- ペルパール

好調を継続する鉄鋼、回復に転じた自動車、建機に加え、次期は造船、エレクトロニクスなどの回復が加わり、ガス需要は一層改善してくるものと予想されます。こうしたなかで当社は、VSU戦略と充填所整備を一体的に推進し地域ビジネスの強化・拡充を図っていきます。また、需給タイトな環境が続く炭酸ガスについては、安定供給体制確立のため、ガス生産能力の増強に引き続き取り組んでいきます。

ケミカル関連事業

コールケミカルは、コークス炉ガスの処理量が安定的に推移し、基礎化学品の主力である粗ベンゼンの生産ならびに販売が堅調に推移しました。ファインケミカルは、精密化学品が原料調達合理化を進めることにより構造改革が着実に進展しました。これら主力事業が順調に進捗したことで、事業環境の悪化によるタール蒸留品の不振を補うことができました。



ケミカル関連事業

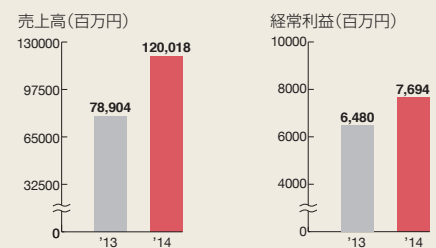


- コールケミカル
 - ガス精製・基礎化学品
 - 炭素材
 - タール蒸留
- ファインケミカル
 - 農業中間体
 - 医薬中間体
 - 電子材料

汎用化学品の生産は、新興国へのシフトが進み、国際競争が一層激しさを増しています。こうした状況下、コールケミカルについては関係協力先との連携を強化し、安定的な生産体制を維持するとともに、グループ事業と連携した新製品の開発にも取り組んでいきます。また、ファインケミカルでは独自技術を生かした新製品開発や新規用途開発を強化し、高品位かつ競争力のある製品の創出をめざしていきます。

医療関連事業

医療用酸素は、新規病院の獲得に努め前年並の数量を確保しました。病院設備は、高度医療設備に対するニーズ拡大を受け、最新鋭の手術室やICUの設備工事件数が高水準で推移しました。医療機器は、循環器系医材の拡販と注力分野である小児・周産期系医療機器での商品ラインアップの強化により、販売が増加しました。医療サービスならびに在宅医療は、M&Aによる事業の強化・拡大を図りました。



医療関連事業

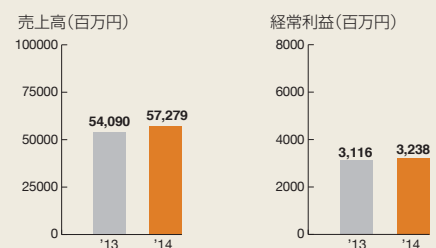


- 病院設備
- 医療用ガス
- 在宅医療
- 医療サービス
- 医療機器

急性期医療病院を中心に高度医療に対する設備・機器ニーズが高まる中、医療関連事業では、病院設備、医療用ガス、在宅医療、医療サービス、医療機器の5本の柱で、国内唯一となる独自の総合医療サービスを展開しています。それぞれの事業が特長ある技術・サービス・製品により圧倒的存在感を示しつつ、総合力で病院一つひとつに深く事業を展開し、医療機関に不可欠なパートナーとしてさらに成長をめざします。

エネルギー関連事業

主力のLPガスは、新規顧客の獲得やハイブリッド給湯暖房システムの設置による消費量の拡大、重油からの燃料転換による工業用LPガスの増販により、前年を上回る数量を確保しました。さらに、灯油においても仕入などコスト合理化に努めることで、事業環境の悪化を補いました。ガス機器ならびに省エネ機器は、LPガス顧客への販売ルートを生かした拡販活動を展開しました。



エネルギー関連事業

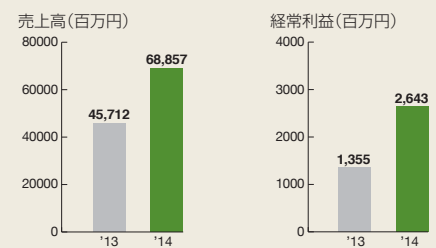


- エネルギー供給
 - LPガス・灯油
 - 天然ガス導管供給
- エネルギーソリューション
 - LNG輸送・貯槽
 - LPガス仕様移動電源車
 - 木質バイオマス利用システム
 - 雪氷熱利用システム

LPガスの単位消費量の減少、仕入コストの上昇、市場競争の激化など、次期も厳しい事業環境が続くと予測されます。こうしたなかで、家庭向けには新規顧客の獲得に加え、当社オリジナルのハイブリッド給湯暖房システムの拡販に注力します。また、産業向けには重油からの燃料転換の提案を進めていきます。これらの施策によって、増販ならびに顧客の消費拡大を同時に推進していきます。

農業・食品関連事業

ハムデリカ・冷凍食品事業は、主力の業務用生ハムやベーコンの販売が関東圏を中心に伸長し、業務用ソースやスイーツも外食チェーンへの新規採用が進み、堅調に推移しました。飲料事業は、果実・野菜飲料やコーヒー飲料などの製造受託が拡大しました。農産・加工事業は、主力野菜の市場価格上昇により順調に推移しましたが、加工部門は天候の影響による品位低下で原料歩留まりが悪化し厳しい状況で推移しました。



農業・食品関連事業

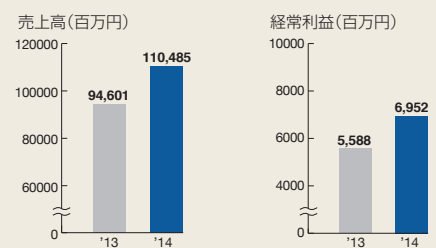


- ハムデリカ・冷凍食品
- 果実・野菜飲料
- 青果物流通・加工
- 農業
- 農業用機械・器具
- AW・ウォーター(宅配飲料水)

ゴールドバック(株)はニチロサンバック(株)と統合して国内4工場体制となり、果実・野菜飲料の開発と拡販にさらに注力します。また2014年度より、AW・ウォーター事業と畑作農機具の日農機製工(株)を当セグメントに加え、原料から加工・販売までの農産物の六次産業の構築を、グループで推進していきます。それぞれの企業がそれぞれの分野で特色ある事業展開を図り、シナジー追求と新規開拓をめざします。

その他の事業

塩事業は、付加価値の高い業務用特殊製法塩の拡販などによる数量増加や、塩化カリウムなど新規事業の拡大、さらに配管更生事業アクアインテック(株)の新規連結により、順調に推移しました。マグネシア事業も、高級電磁鋼板用マグネシアの販売が回復し順調に推移しました。物流事業は、建設関連を中心に荷扱量が増加しましたが、軽油価格の上昇や全国的な車両不足などからコスト上昇が大きく、厳しい状況で推移しました。



その他の事業



- 海水
 - 塩
 - マグネシア
- 物流
- エアゾール
- NV
- Oリング
- エコロッカ®(人工再生木材)
- SIC

(株)日本海水では、塩の安定供給とともに塩化カリウムやリードエフといった環境製品の生産拡大に引き続き努めていきます。マグネシア事業では、高級電磁鋼板用マグネシアの拡販や、窯業向け電融マグネシア事業への参入に取り組みます。物流事業では、好調な食品物流の分野で流通ネットワークの充実に取り組むとともに、グループ事業向け特殊車両製造などの推進を図ります。

新たな「地域ビジネスモデル」によって 国内事業のさらなる進化をめざす

「2020年に売上高1兆円」の目標に向け、着実に歩みを加速しているエア・ウォーター。その成長の鍵を握る「ねずみの集団経営」「全天候型経営」を、最前線で実践しているのが全国に展開する地域事業会社です。それぞれの地域特性や事業群の構成に応じてさまざまな事業間シナジーを発揮させ、各地域が自律的に独創的なビジネスを創出していくことで、国内市場における新たな成長をめざす当社の地域ビジネスモデルを紹介します。



「最前線企業」としての地域事業会社を核に 全国各地で独創的シナジーを創出する

ねずみの集団経営・全天候型経営に 不可欠な「地域に根ざした事業展開」

当社は、2013年度(2014年3月期)で11期連続の、経常利益増益を達成しました。この成長を支えているのが、小規模ではあっても収益性の高い多彩な事業群によって環境変化に柔軟に対応していく独自戦略である「ねずみの集団経営」と、産業系ビジネス(産業ガス、ケミカル)/生活系ビジネス(医療、エネルギー、農業・食品)の最適なバランスをとりながら、安定した経営基盤を構築する「全天候型経営」です。この2つの基本戦略に基づいた、積極的なM&Aにより医療、福祉介護、エネルギー、農業・食品、海水事業など、多種多様な新規事業をグループに加え、着実な成長を遂げてきました。

エア・ウォーター発足からの13年間でM&Aによる新規連結企業数は90社近くに上りますが、エア・ウォーター流M&Aとは、単なる「足し算」ではありません。当社は、M&Aで得た新規事業をグループの総合力で着実に育成するとともに、新規事業と既存事業間におけるさまざまなシナジーを発揮させ、新たな独創的ビジネスモデルを次々と生み出してきました。だからこそ、日本の製造業にとって厳しい経営環境が続いたこの13年間に於いても、安定した成長を遂げることができたのです。

こうした新たなビジネスモデルの創出において不可欠なのが「地域に根ざした事業展開」です。それぞれの地域における産業や人々の生活をしっかりと見つめ、各地域で求められる製品・サービスを積極的に提供しようとする姿勢が、多様な事業の育成や事業間シナジーの発揮につながっています。

全国9ブロックの「連邦制」で 地域特性に応じた事業深耕を推進

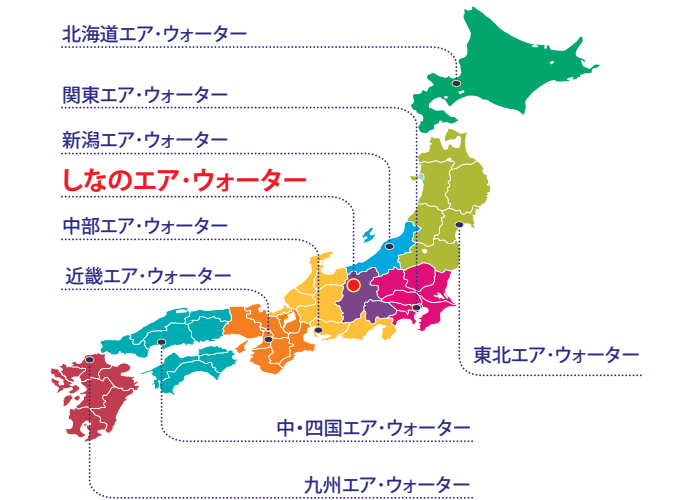
成長のベースとも言えるこうした地域でのビジネス展開を、より強力に推し進めていくため、当社は2012年6月、全国を9つの地域ブロックに分け、それぞれに核となる地域事業会社を配置する革新的な組織改正を実施しました。この組織再編は、地域事業会社が「エア・ウォータービジネスの最前線を担う」存在であるという位置づけを明確化したものです。それは、本社ビジネスラインの川下で、商材を地域に流すことに特化した一般的な販売子会社ではなく、個々の地域事業会社が自立性・独自性を持ち、それぞれの地域特性に応じて

独創的なビジネスモデルを生み出していき、いわば「地域版エア・ウォーター」として全国の9ブロックで独自事業を展開していくという「連邦制」の宣言でした。

【エア・ウォーターの地域事業推進体制】



この新たな「連邦制」のもと、全国の9ブロックでは、カンパニーが開発する新商材や新製品を地域事業の拡大に生かすとともに、エネルギーや福祉介護、農業・食品、水などグループのさまざまな事業体を持つ商材やサービスを融合させながら、それぞれの地域特性に応じた、特徴あるビジネスモデルを生み出していこうとしています。その中でも先行事例と言えるのが、長野県、「信州」です。この地において、どのような事業群が育ち、独自のシナジーが生まれてきたのかを紹介します。



「信州」で具現化した 地域密着型のビジネスモデル

長野に集積する16の事業が 地域の暮らしと経済に貢献

山と緑に囲まれ、清浄な空気と、豊富で良質な水に恵まれた長野県、「信州」。信州地域の事業推進のコアとなるのが、1994年に設立した「しなのエア・ウォーター(株)」です。同社は、VSUを中核とした産業ガス事業、医療ガス事業を展開するとともに、「信州」における多彩なグループ事業群を統括し、地域に根ざしたビジネスとして成長させるコンダクターの役割を担っています。

【「信州」16事業】

①しなのエア・ウォーター(株)
②エア・ウォーター・マツハ(株)
③春雪さぶー(株)
④エア・ウォーター・エコロッカ(株)
⑤ファインフーズ(株)
⑥(株)エア・ウォーター農園
⑦(株)山口特殊印刷
⑧しなの液酸(株)
⑨(株)AWあんじゅり、生活アシストセンター松本
⑩AW・ウォーター(株)信濃大町工場
⑪エア・ウォーター(株)産業カンパニー市場開発部
⑫エア・ウォーター(株)SIC事業部
⑬(株)エア・ウォーター総合開発研究所
⑭エア・ウォーター(株)医療カンパニー福祉介護事業部
⑮ゴールドパック(株)
⑯阿部電材(株)

現在、信州地域では、しなのエア・ウォーター(株)を含めた16の事業が拠点を構え、地域ニーズ密着型ビジネスによる重層的で高密度の事業展開を行いながら、多種多様な事業間シナジーを創出しています。とりわけ近年は、農業・食品や水、医療、福祉介護といった「人にかかわるビジネス」が大きく成長し、地域の人の暮らしに貢献しています。またグループによる県内での雇用は1,000人以上を超え、雇用創出の面でも地元経済に大きく寄与しています。

農園、食品、飲料、ミネラルウォーター… 多彩な事業群がシナジー効果を発揮

「信州」での事業展開における特徴の一つは「食」にかかわる事業群が多数集積している点にあります。

農業・食品分野の事業拠点としては業務用食品の製造販売会社「春雪さぶー(株)」の営業拠点が存在しましたが、2008年に松本市が推進していた発芽玄米の製造販売事業「ファインフーズ(株)」を引き継ぎ、グループに製造拠点が加わりました。さらに2011年には、安曇野市の第三セクターからトマト栽培事業を引き継ぎ、「(株)エア・ウォーター農園 安曇野菜園」として、さらに製造事業が拡大していきました。こうした地域事業の引き受けは、地域貢献の一環だけでなく、「信州」における事業間シナジーの拡大の大きな布石でした。

2012年には、長野県内に2つの工場を持つ果実・野菜飲料メーカーの「ゴールドパック(株)」が加わったことで飲料事業に参入。さらに2013年3月には、豊富なミネラルを含んだ北アルプスの地下水から天然飲料水を生産する「AW・ウォーター(株)信濃大町工場」が完成し、宅配飲料水事業も本格的に開始しました。

これらの事業はさまざまな形で有機的に連携しています。たとえば農園での野菜生産には産業ガス事業の商材である炭酸ガスを栽培促進に活用。また、春雪さぶー(株)の提供する野菜は、ファインフーズ(株)の給食サービスの素材として扱われています。今後は農園事業とゴールドパック(株)との連携も期待されます。こうした事業間シナジーの創出こそが、エア・ウォーター流地域ビジネスモデルの真髄なのです。



(株)エア・ウォーター農園 安曇野菜園

グループのあらゆる商品・サービスを 結集させた先進的な福祉介護事業

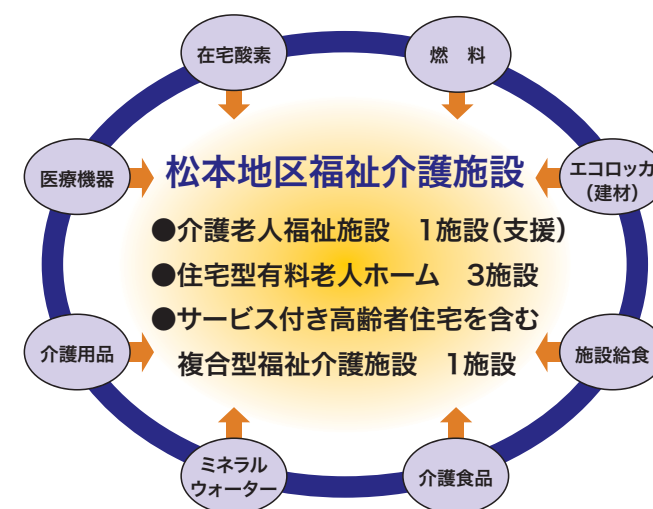
さまざまな事業連携が実現している「信州」でも、既存事業と新規事業がとりわけ大きなシナジーを発揮しているのが福祉介護の分野です。

当社は、2000年に松本市で特別養護老人ホーム(サルビア)の設立支援に携わって以来、県内での福祉介護関連事業を積極的に拡大してきました。2011年には、福祉介護事業を専門に手がける「(株)AWあんじゅり」を松本市に設立。現在、同社は住宅型有料老人ホーム「あんじゅり」「泉の里」「愛香里(あかり)」を運営しています。

2013年5月には、松本市にサービス付き高齢者住宅を含む複合型福祉介護施設「生活アシストセンター松本」を開設。この施設は、運動・栄養学を研究する松本大学の人間健康学部の全面的支援と、地域医療機関との連携のもと、高齢者の介護予防から健康管理・医療サポートまでの一貫体制を確立した、先進的な福祉介護施設です。

これらの福祉介護施設には、施設給食やミネラルウォーター、介護用品をはじめ、在宅酸素吸入器、LPガス、建材など、「信州」に集積するグループの多種多様な商品とサービスが供給されています(図参照)。まさに「人にかかわる」ビジネスが、事業間シナジーを遺憾なく発揮している実例と言えます。

【福祉介護事業を核としたシナジー】



「信州」をモデルケースに 全国の地域事業を活性化していく

「信州」におけるこうした事業連携を、当社では新たな地域事業展開における一つのモデルケースとして位置づけています。しなのエア・ウォーター(株)が推進するこうした地域事業の深耕を先進事例に、他の8つの地域ブロックにおいても、それぞれの地域特性、地域ニーズに密着した独自のビジネスモデルを各地域会社が核となって創出していくとしています。

2013年11月、当社はインドの産業ガスメーカー「エレンバリー社」に資本参加し、インド国内での産業ガス事業展開を開始しましたが、これに先立つ同年6月、同社のP.K.アガルワラ社長が長野を訪れています。ガス事業だけでなく、水や農業・食品などさまざまな人にかかわるビジネスが複合的に連携し、地域に貢献している姿を目の当たりにした同氏は、「産業ガスの将来を先取りしている。インドにもこのような地域に根ざした事業モデルをぜひ移植したい」と感銘を受け、これがパートナーシップ締結の決め手になりました。



エレンバリー社

地域に根ざし、地域の人々の暮らしを見つめながら、積極的なM&Aによってサービス領域を広げるとともに、多様な事業群による「ねずみの集団」がシナジーを追求し、地域のニーズに密着した独自の事業構造を形成していく——。当社の「信州モデル」は、国内事業の活性化はもちろん、海外への事業展開においても優れた指針となる可能性を秘めているのです。

AWの知力を集結させた「総合開発研究所」

松本市に設立された「(株)エア・ウォーター総合開発研究所」では、ガスや低温機器技術から半導体関連、医療用関連技術まで独創的新技術の開発とビジネスモデル創出を推進。全国のグループ会社とともに県内の多彩な事業群に対しても、技術面でのサポートを行っています。

国内で培った「LNG輸送」の技術・実績を生かし 北米市場での挑戦を開始

インドの産業ガス会社のM&A、ベトナムでのガスプラント建設など、エア・ウォーターグループでは産業ガス事業での海外展開を一步ずつ進めています。2014年5月には(株)日立ハイテクノロジーズと合併で、アメリカでのLNG(液化天然ガス)輸送用タンクコンテナの製造販売会社を設立。国内で培ったLNG輸送の圧倒的な技術とノウハウを生かし「シェールガス革命」が進む北米を皮切りに、世界市場に向けてチャレンジを始めています。

極低温での断熱技術を応用した輸送用「LNGタンクコンテナ」

当社が「LNG輸送用タンクコンテナ」の開発に初めて成功したのは1999年。国内で需要が高まる液化LNGの輸送効率化に向け、鉄道と自動車を組み合わせた輸送が可能で、積載量もタンクローリーに優るタンクコンテナの開発に取り組みました。従来の断熱方式である「パーライト断熱^{※1}」は、過酷な振動に弱いという問題がありましたが、産業ガス施設であるコールドエバポレーター(CE)の新技術として開発した「コンポジット真空断熱^{※2}」を応用し、鉄道の過酷な振動にも耐えうる長さ30フィートの「LNG輸送用タンクコンテナ」を開発することができました。

この新型タンクを活用したLNG輸送が2000年に開始され、新潟のLNG基地から石川県・小松のサテライト基地まで、鉄道とトレーラーを使った総延長360キロメートルの長距離輸送が実現しました。それは日本のLNG供給に革命を予感させる出来事でした。

翌2001年には、国内最大積載量(当時)13.5トンを超えるトレーラー仕様の40フィートタンクコンテナの開発にも成功。

さらに2008年にはタンク本体に車軸を取り付け、車両全体の重心を低くし軽量化した「モノコック」タイプLNGセミトレーラーを開発し、積載量も14トンまで増加させて競争力を高めました。さらに昨年、国内最大積載量の15.7トンを開発し、販売を開始しました。2014年3月までに、当社では300台以上のローリー・コンテナを出荷しており、この分野において国内最大シェアを持っています。

※1.パーライト断熱:パーライトはガラス状の火山岩を原料として製造された砂状の断熱材。断熱容器の外郭真空層にこれを充填し、断熱層とするが重量のあるパーライトは激しい振動を受けると偏りが起こり断熱効果が低下しやすい。
 ※2.コンポジット真空断熱:重量がパーライトの4分の1という軽量化断熱材を用いることにより、振動に強く、断熱効果が高い。



国内外で拡大する小・中量LNG輸送のニーズ

現在、原油価格高騰および環境規制により、世界的にLNGの需要が拡大しています。それに伴い、小・中量LNG輸送用に陸上輸送では、モノコックLNGセミトレーラー、陸上・船舶輸送では、LNGタンクコンテナが必要となります。

日本では、早くから国内各地にLNG受け入れ基地が建設され、LNGローリー・コンテナによる各需要拠点への輸送が行われています。海外においても、LNG輸送需要が拡大しており、当社が国内で確立した輸送用LNGタンクコンテナ技術へのニーズが、今後全世界で拡大していくことは間違いありません。LNGタンクコンテナの世界舞台での出番がやってきたのです。



日本列島を取り巻く LNG受け入れ基地の建設



エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)札幌製作所



LNGタンクコンテナ

最大市場の北米にLNGタンクコンテナの製造・販売合併会社を設立

LNGタンクコンテナの最大ターゲットとなるのが、膨大なシェールガス埋蔵量を持つ北米エリアです。

北米では、シェールガス革命を発端に生産量が増大したことで天然ガスの価格が下がり、大規模発電所などの大量需要だけでなく、小規模発電所やLNG機関車といった小・中量でのさまざまな用途に需要が拡大しつつあります。

北米は石油・天然ガスのパイプライン輸送に関する先進地域ですが、パイプラインネットワークだけでシェールガスを生活圏へ供給することは難しく、トラックや鉄道による小・中量天然ガスの輸送手段へのニーズが急速に高まってきています。

こうした背景から、2014年5月に(株)日立ハイテクノロジーズと当社のグループ会社であるエア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)が、40フィートLNGタンクコンテナを製造・販売する合併会社「Hitachi High-Tech AW Cryo, Inc.」を北米に設立しました^{※3}。同社は今後、小・中量天然ガスの安全で効率的な輸送を実現するLNGタンクコンテナを北米の地域エネルギー供給会社や大手物流会社向けに提案し、2020年度には売上高120億円をめざしています。このような形態での合併ビジネスは、当社にとっても初の試みであり、今後の海外展開におけるひとつのモデルケースとして大いなる期待をしています。

※3.エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)が34%を出資。(株)日立ハイテクノロジーズ51%、そのアメリカ現地法人日立ハイテクノロジーズアメリカが15%をそれぞれ出資。

産業ガス関連事業

「産業ガスの総合サプライヤー」として
ものづくりや暮らしの多様なニーズに応えています。

エア・ウォーターは、酸素、窒素、アルゴンをはじめ炭酸ガス、水素、ヘリウムといった多様な産業ガスを社会に供給しています。これらの産業ガスは、鉄鋼や化学、エレクトロニクス、ガラスなど、多種多様なものづくりの現場で活躍しているほか、医療、農業、食品など社会のあらゆる場面において必要不可欠の存在となっています。産業ガス関連事業の大きな特長は、お客様工場でのオンサイト供給から、シリンダー（ガスボンベ）による小口供給まで、ニーズに応じた最適の方法によりお届けできる柔軟な供給体制。そこには「自分たちでガスをつくり、自分たちの手でお客様のもとにお届けする」という、創業より大切にしている「製販一貫思想」があります。今後もガス製造はもちろん、プラントエンジニアリングや輸送・貯槽など高度なガス関連技術を結集して社会の幅広いニーズに応えていきます。

エア・ウォーター炭酸(株)が川崎に 新工場を建設

エア・ウォーター炭酸(株)は、東燃ゼネラル石油(株)の協力を得て、同社川崎工場内の遊休地に炭酸ガス工場を新設します。新工場は、東燃ゼネラル工場の原油精製過程で発生する炭酸ガスを原料に液化炭酸ガスを製造・販売するとともに、この液化炭酸ガスを原料としたドライアイスの製造も行うもので、2014年度中の建設着工、2015年度中の試運転完了を予定しています。関東地区の炭酸ガスの主力製造拠点としては、すでに市原工場がありますが、これに川崎新工場が加わることにより、今後もタイトな需給環境が見込まれる液化炭酸ガス・ドライアイスの安定供給に努めていきます。



「ブロックドライアイス」製造ライン

<ローリー・シリンダー>

各地のガス製造拠点・充填所と、地域事業会社を連携させた強力な供給ネットワークを全国に構築しています。小口需要にはシリンダー1本からきめ細かく対応する一方、中口需要に対してはガスカードルやPLC(超低温液化ガス容器)、液化ガスローリーで安定的に供給するなど、使用量・目的に応じた最適な方法でお届けしています。



つくばガスセンター

<VSU>

高効率小型液化ガス製造装置「VSU」は、「需要地の近くで適量を生産し、近距離輸送で届ける」という独自のビジネスモデルであり、各地のディーラー企業とのパートナーシップのもと地域需要に地域で応えています。全国11拠点に配置したVSUは、災害に強い産業ガス供給ネットワークを形成するとともに、安全で安定的な供給体制を構築し、ガス輸送におけるCO₂削減にも寄与しています。



防府工場「VSU」

<大型オンサイト>

鉄鋼業をはじめ化学、半導体など常時大量の産業ガスを必要とする産業分野では、お客様の工場敷地内に大型ガス製造プラントを設置し、パイピングによって効率的・安定的な供給を行っています。全国に展開するエア・ウォーターグループ直下のオンサイト工場は、VSUとともに外販向け液化ガスの製造拠点としても活用され、最新鋭の技術導入により常に高効率のガス生産を追求しています。



泉北酸素「V3」

<中小型オンサイト>

エレクトロニクス産業やガラス産業、紙・パルプ産業などの中規模の需要がある分野へは、中小型のガス発生装置でオンサイト供給を行っています。高純度の窒素・酸素・水素を製造する「Vシリーズ」をはじめ、深冷空気分離方式や冷熱や触媒を利用しないPSA方式など自社開発による多様なガス発生装置をラインアップし、お客様のニーズに応えています。



高純度窒素発生装置「V1」

<産業機材>

溶接用アルゴンシールドガスをはじめ多様な産業機材を提供しています。鉄鋼板溶接用シールドガスでは高純度・高品質を実現した国内最大シェアを誇る「エルナックス®」や、ステンレスやアルミニウムの溶接用シールドガス「AWシールド」を軸に、製造現場で使用される機器・工具販売により、溶接ソリューションサービスを展開しています。



溶接用シールドガス「エルナックス®」

<特殊ガス/特殊化学品>

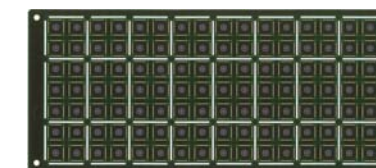
半導体や液晶パネル、太陽電池、LEDといった先端分野の製造プロセスで使われる特殊ガスや高純度化学品、有機金属材料を海外調達し、徹底した品質管理のもとお客様に提供しています。高純度アンモニア、セレン化水素については、高品質の製品を国内製造しています。



特殊ガス供給モジュール

<電気・電子材料>

電気・電子材料の専門商社である井上喜(株)・阿部電材(株)は、お客様の課題を解決する製品をグローバルに調達し、さらにお客様の要請により必要な加工を加えて納入します。(株)プリンテックは、高性能の半導体基板、フレキシブル基板用接着剤を製造販売しています。



高性能の半導体基板

<ベルパール>

エア・ウォーター・ベルパール(株)は機能性樹脂「ベルパール®」をはじめ、蓄電デバイス用電極材「ベルファイン®」や電極シート「ATEC®」などを製造・販売しています。また「ベルファイン®」を吸着材としたPSA式窒素ガス発生装置「ベルスイング®」を開発し、国内外に展開しています。



機能性樹脂「ベルパール®」

ケミカル関連事業

石炭化学技術が生み出す各種ケミカル製品が
社会のあらゆるシーンで活躍しています。

エア・ウォーターのケミカル関連事業は、産業ガス供給を通して築いた製鉄業界との密接な関係を基礎に発展を遂げてきました。同事業の2本柱を構成しているのは、製鉄所から供給されるコークス炉ガスやコールタールを原料に高付加価値の化学製品を製造する「コールケミカル」と、タール蒸留品や有機化合物を原料に、優れた合成化学技術で高品位の製品をつくり出す「ファインケミカル」。両事業から生み出された多種多様なケミカル製品は、各種の樹脂やゴムをはじめ肥料や農薬、医薬品、電子材料など社会のあらゆるシーンで活躍しています。

2012年には、中国にもファインケミカルの製造会社を設立し、高品位かつ国際競争力のある生産・供給体制の確立をめざして事業体質を強化・充実。今後も各種の分離・精製技術や芳香族化合物の誘導体合成技術など、蓄積した豊富な知見とノウハウをベースに、個々のお客様の要望・ニーズに応える独創的な製品の開発に努めていきます。

シリコンウェハ研磨剤事業への進出(ATシリカ(株))

エア・ウォーターは、ケミカル事業の一環として、2010年にタイテム社と合併でATシリカ(株)を設立し、シリコンウェハ研磨剤事業に進出しました。2011年につくば工場に菌型シリカを核とする最初の製造装置を建設し、2013年には新菌型シリカも製造可能にする増設を実施しています。ATシリカの保有する、半導体デザインルールへの微細化に対応した業界最先端の技術力は、シリコンウェハメーカーから高い評価を受けており、2013年の販売開始以来、徐々に販路を拡張しています。今後この事業を核に既存の電子材料事業と融合させることで、新規分野の拡大をめざしていきます。



研磨剤反応装置

コールケミカル

<ガス精製・基礎化学品>

製鉄所の高炉燃料であるコークスの製造過程で副成する「コークス炉ガス」を分離・精製し、高炉の稼働に不可欠な精製ガス(燃料用ガス)として製鉄所へ直送しています。

さらに、この精製過程で粗ベンゼンや硫安などの基礎化学品を製造しています。これらは樹脂・溶剤や農業用肥料、合成繊維などさまざまな工業製品の原料として社会に役立っています。



ケミカル鹿島工場

<炭素材>

石炭化学技術の応用により、高付加価値の炭素材製品を開発し、市場に供給しています。主力製品のひとつである熱膨張性黒鉛「TEG」は、国内ではエア・ウォーターだけが製造しており、自動車エンジンや排ガス配管のシール部材、建材向け難燃用途などに使われています。



難燃剤としても使用される「TEG」

また炭化水素樹脂「FR」は、ゴムや樹脂との相溶性に優れ、自動車用タイヤゴムの粘結付与剤などに利用されています。

<タール蒸留>

新日鐵住金化学(株)との合併会社(株)シーケムは、国内トップクラスの製造能力を備えるタール蒸留の専門会社です。同社では、エア・ウォーターが提供するコールタールを原料に、電気炉電極用ニードルコークスやナフタリン、無水フタル酸などのタール由来製品を製造し、世界市場に供給しています。



電気炉電極の原料になるニードルコークス

ファインケミカル

<農薬中間体>

キノリン類、インドール類などの「ヘテロ環化合物」の世界的トップメーカーであるエア・ウォーターは、国内のほかアジア、アメリカ、欧州など世界各国の農薬メーカーの誘導体開発ニーズに応える多様な化合物を提供しています。これらの化合物を原料に、果樹用殺菌剤や植物の成長促進剤、除草剤など、さまざまな農薬製品が製造されています。



農薬中間体

<医薬中間体>

高度な合成化学技術と、GMP基準を満たす多目的合成プラント(エア・ウォーター鹿島工場、サンケミカル(株))を駆使して、多種多様な医薬品の誘導体を受託生産し、大手医薬品メーカーをはじめとする幅広いお客様の開発ニーズに応えています。それらの医薬原料・医薬中間体は、抗がん剤、抗アレルギー剤、栄養剤、鎮咳剤、点眼剤、血管造影剤などさまざまな医薬品となって医療に広く貢献しています。



鹿島工場GMPプラント

<電子材料>

「液相空気酸化」や「ニトロ化」など、高度なポリイミド合成技術を生かし、半導体の封止やフォトレジストに用いられる各種の機能性ポリマーを鹿島工場、中国合併会社(愛沃特裕立化工)にて製造し、商品化しています。主力製品である熱硬化性フェノール樹脂「SKレジジン」は、ハイエンドクラス(最高品位)の半導体封止材として国内で約3割のシェアを有し、豊富なグレードをラインアップしています。



半導体封止材「SKレジジン」

医療関連事業

医療用ガスから設備・機器・医療サービスまで、「総合ソリューション」で生命の現場をトータルサポートしています。

医療用酸素をはじめとする各種医療用ガスを、いついかなるときも安定供給すること。それがエア・ウォーター医療関連事業の絶対的な使命です。患者様の生命を守る医療用ガスを自社インフラを通して、安全・確実に医療機関にお届けしています。さらにエア・ウォーターの医療関連事業は、新生児・小児用人工呼吸器、保育器などの医療機器の輸入販売から、手術室やICUをはじめとする病院設備の設計施工、SPD・受託滅菌などの医療サービス、在宅医療など患者様に直接かかわるサービスまで、幅広い事業展開を開始しています。

このような多様な事業を展開しているからこそ、医療の最前線で直面する多くの課題に、最適な解決策をお客様へ提案できるのです。医療関連事業はエア・ウォーターの成長戦略における重要な柱でもあり、今後もサービスの質・量をさらに充実させ、社会に貢献していきます。

病院向け総合ソリューション力の強化

エア・ウォーターの医療関連事業は、病院設備、医療用ガス、在宅医療、医療サービス、医療機器の5つの柱を持つ複合サービス体となっており、他社にはない総合力を持った事業を展開しています。

さらなる飛躍に向け、2013年度には在宅医療事業において医療用酸素濃縮器の製造・販売および在宅輸液ポンプの事業を譲受したほか、SPDサービス大手のヘルスケアテック(株)を新たにエア・ウォーターグループに加えました。さらに、調剤薬局を展開するファーマライズホールディングス(株)、消火・防災事業大手の(株)モリタホールディングスと業務提携を結びました。今後、これらを新たなソリューション提案につなげ、医療関連事業の総合力を強化していきます。



ファビアンHF0シリーズ

※欧州輸出のパスポート「CEマーク」を取得したこのアウトレット(医療ガスの取り出し口:配管端末器)は、保守点検時のガス放出を自動で止める、世界でもユニークな機能を備えています。

病院設備

エア・ウォーター防災(株)、美和医療電機(株)、精研医科工業(株)の3社がグループを構成し連携することにより、それぞれの強みを融合させ、医療用ガス配管などのガス供給設備や、病院の中核機能設備である手術室、ICU(集中治療室)、CCU(冠疾患集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)など、高度な技術を要する病院設備を、長年の経験と最新の技術で、プランニングから設計、製造、施工、メンテナンスまでワンストップソリューションを実現しています。



高度医療施設の手術室

医療用ガス

医療用ガスのトップサプライヤーとして、主力商品である医療用酸素をはじめ、麻酔に用いられる亜酸化窒素(笑気ガス)、MRI用ヘリウム、医療器具滅菌に使われる滅菌ガスなど、多様な医療用ガスを、全国各地の医療機関に供給しています。特に安定供給が求められる医療用酸素に関しては、VSUなどの製造・供給拠点と全国に張りめぐらせた輸送ネットワークによって、万全の安定供給体制を確立しています。

また、独自開発による遠隔監視システムを構築し、24時間365日、監視センターでリアルタイムに医療用ガスの供給と設備の状態を把握しています。



医療用ガスCE

在宅医療

1982年に日本で初めて医療用酸素濃縮器を輸入し、いち早く在宅医療ビジネスに着手して以来、医療用酸素濃縮器の自社開発と製造、在宅用人工呼吸器、睡眠時無呼吸症候群向け治療装置、さらには排痰補助装置へと事業領域を拡大してきました。機器の開発製造から、在宅患者様への対応ときめ細かいサポートの提供により、在宅医療を強化拡大しています。



酸素濃縮器「小春」と「いぶき」

携帯型HPNポンプ
カフティーポンプS

医療サービス

院内の医薬品や医療機器などの物品物流管理業務を一括受託する「SPD」、医療器材の滅菌処理を行う「受託滅菌サービス」などを通じ、病院スタッフが医療業務に専念できる環境づくりをサポートしています。受託滅菌サービスにおいては、専門スタッフを病院に派遣し高品質な院内滅菌を実施しているほか、全国各地に設置した受託滅菌センターにより、フレキシブルなサービスを展開しています。

また、地域医療サービスとして在宅・福祉介護用品の販売・レンタル事業を展開するとともに、グループが持つさまざまな技術やノウハウと地域の力を融合した福祉介護施設の運営を開始しています。



九州滅菌センター



生活アシストセンター松本



生活アシストセンター松本

医療機器

医療機器分野では、国内で高いシェアを持つ高気圧酸素治療装置など医療用ガスとかわりの深い呼吸器関連機器をはじめ、循環器、透析、介護、歯科などへと領域を拡大し、それら医療機器の流通やメンテナンスまで事業を展開しています。特に、新生児・小児・周産期関連の医療機器に強みを持ち、新生児分野においては、一酸化窒素肺血管拡張剤「アイノフロー®」とその投与装置「アイノVENT®」による吸入療法事業も展開しています。そのほかにも世界中から優れた医療機器を厳選して日本の市場に導入しています。

介護機器では、入浴する人にも介護する人にも心地よく快適な入浴サービスを実現する介護用シャワー入浴装置「美浴シリーズ」を製造・販売。また、歯科領域で使用される金属材料や樹脂材料とそれらの加工機器や注射針の製造など幅広い事業展開を行っています。



セクリスト社製の
高気圧酸素治療装置

エネルギー関連事業

LPガスを中核に、地域密着型の生活ソリューションビジネスを展開しています。

1955年に北海道で開始したLPガスの販売事業を原点に、エア・ウォーターのエネルギー関連事業は、着実な発展を遂げられました。同事業の中核であるLPガス分野では、歴史に裏打ちされた高いブランド力と、北海道・東日本・中日本の各地に設置した供給拠点・営業拠点を活用して、地域の産業や人々の暮らしに密着した多様なサービスを提供しています。

また、石油・石炭と比べ環境負荷の少ないクリーンなエネルギーとして注目が高まるLNG（液化天然ガス）分野でも、極低温技術を生かした輸送用コンテナなどのエンジニアリング事業を推進しています。さらに省エネルギー化や災害対策として注目される分散型エネルギーシステム、LPガス発電機を搭載した移動電源車、木質バイオマス利用システム、雪の冷熱を有効利用した雪氷熱利用システムなど、独自技術による新提案にも積極的に取り組んでいます。

「50kW級発電ユニット搭載タイプ」のLPガス仕様移動電源車を新開発

2014年5月、LPガスを燃料に発電を行う「LPガス仕様移動電源車」のラインアップに「50kW級発電ユニット搭載タイプ」が加わりました。同製品は3トンロングトラックに50kW級のLPガス発電ユニットを搭載したもので、約20世帯分の発電能力があります。発電ユニットは着脱可能のため、平常時はベース車両を一般のトラックとして使うことができます。また、発電ユニットも単独で使用できるので、災害時に被災地を支援する移動電源車としてだけでなく、工場などの非常用電源としても活用できます。



LPガス仕様50kW移動電源車

エネルギー供給

<LPガス・灯油>

「ハローガス」のブランドにて、北海道全域をはじめ東日本・中日本エリアの広域にわたって、家庭用から商業・工業用、自動車用、簡易ガス事業用まで、地域の暮らしや産業に欠かせない燃料エネルギーをお届けしています。LPガス事業では、二次基地（LPガス大型貯蔵タンク）からお客さまへのお届けまで、自社による一貫供給管理体制を確立しています。また、他のエネルギーとLPガスを組み合わせた「エネルギーのベストミックス」の提案にも力を入れており、企業向けにはLPガスを活用したガスコージェネレーションやガスヒートポンプのシステムを、一般家庭向けには、電気式ヒートポンプと高効率ガス給湯器を組み合わせたハイブリッド給湯暖房システム「VIVIDO」を、それぞれ提案しています。

さらに快適なLPガスライフ提案の一環として、LPガス関連機器の販売・設置のほか、住まいのリフォーム提案や福祉・介護用品など、地域の暮らしに密着した生活サービス事業も展開しています。



LPガス



災害時用LPガス供給設備

<天然ガス導管供給>

北海道・苫小牧の勇払ガス田から産出する天然ガスを、千歳臨空工業団地内に設置した「千歳天然ガス供給センター」まで専用導管で送給し、工業団地内の進出企業に安定供給しています。



千歳天然ガス供給センター

エネルギーソリューション

<LNG輸送・貯槽>

エア・ウォーターはLNG輸送・貯槽技術における国内のパイオニアです。特にLNG輸送機器の分野においては、陸上での大量輸送に特化した専用モノコックローリーや、陸・海上輸送用タンクコンテナ、陸上・鉄道輸送用タンクコンテナなど、幅広い輸送ニーズに応えるLNG輸送容器を開発・提供しています。LNG貯槽に関しても、産業ガスで培った極低温の技術・ノウハウを生かし、貯槽容器の選定から設備レイアウトまでニーズに則した最適なLNGサテライト基地（貯蔵・気化送出設備）を提案できる高度なエンジニアリングサービスを展開しています。



国内最大級LNG積載量の15.7トンLNGローリー車

<木質バイオマス利用システム>

再生可能エネルギーである木質バイオマスを利用したエネルギー供給システムの創出を進めています。最新鋭の木質バイオマスガス化装置の採用とコージェネレーションビジネスで培った熱利用等を合わせ、小規模ながらエネルギー利用効率の高いシステムを構築し、地産地消のエネルギー利用モデルとして提案していきます。

<LPガス仕様移動電源車>

LPガス発電により100kW（約40世帯分の電力）を供給できる「コンテナタイプ」のほか機動性に優れた「軽自動車タイプ（発電能力9.8kW）」、トラックに発電ユニットを搭載した「50kW級発電ユニット搭載タイプ」をラインアップ。災害時などの事業継続対策として自社のLPガス充填所などへ配備を進めるほか、企業や自治体の非常用電源としても販売を拡大しています。



LPガス二次基地と100kW級移動電源車

<雪氷熱利用システム>

これまで未利用だった雪の冷熱に着目した冷蔵システムのテスト運用を開始。大量のエネルギーを消費することなく野菜や米の美味しさと鮮度を保てる冷蔵食品倉庫など新たなビジネスの創出をめざしています。



雪氷熱エネルギー利用倉庫（水室）

農業・食品関連事業

農作物生産から流通・食品加工まで革新的な食のバリューチェーンで六次産業をめざします。

エア・ウォーターにおける「食」のビジネスは、1980年代、液化窒素の冷熱を有効活用した農水産物の冷凍食品の製造事業からスタートしました。以来、ハム・デリカなどのチルド食品や自社開発による調理用ソース、スイーツなどへ事業分野を広げると、2009年には「農業生産法人(株)エア・ウォーター農園」を設立し、太陽光利用型野菜工場での高品質の野菜生産によって農業分野にも本格的に参入を果たしました。

その後も積極的なM&Aにより、青果物の流通・加工や清涼飲料水の製造・販売などの新分野を加え、2012年から新たな事業セグメントとして「農業・食品関連」をスタートしました。同事業では今後、多彩な事業群と既存事業とのシナジーを追求しながら、一次産業から三次産業までを包括する「六次産業」の確立をめざして革新的な食ビジネスを創出し、将来に向けた新たな成長の柱として育成していきます。

「AW・ウォーター北アルプスの天然水」が「モンドセレクション最高金賞」と「iTQi優秀味覚賞2つ星」をダブル受賞

「AW・ウォーター北アルプスの天然水」が、世界的な品質審査機関の「モンドセレクション」において「2014年度最高金賞(GRAND GOLD MEDAL)」を受賞し、さらに食品や飲料品の味を審査する世界的機関「国際味覚審査機構(iTQi)」の「2014年度優秀味覚賞2つ星(2Golden Stars)」も併せて受賞しました。同製品は、北アルプスの豊かな自然環境に育まれた、豊富で清潔な信濃大町の天然水を、当社最新鋭の工場にて製造した安全・安心でおいしい宅配天然水。今回の受賞は、当社の飲料水事業における高い技術水準と品質、そして「おいしさ」が、世界に認められたものです。



AW・ウォーター 北アルプスの天然水

ハムデリカ・冷凍食品

春雪さぶーる(株)が、全国のホテル・高級レストランから高い評価を得ている業務用冷凍食材の「さぶーる」、市販用ハム・デリカ食品の「春雪」、そして神奈川県を中心に南関東エリアで強いブランド力を持つ「サガミハム」の3ブランドを展開。国内トップシェアを持つ生ハムをはじめ、極低温技術によりブロックリーやアスパラなど、おいしさと新鮮さを保った高品質冷凍食材を幅広いお客様に提供しています。

また調理用ソース、北海道産素材のスイーツなど新分野にも積極的に挑戦しています。



「さぶーる」商品(業務用)

果実・野菜飲料

ゴールドパック(株)は、長年にわたり果実系飲料、野菜系飲料、天然水など質の高い製品を提供してきました。国産品にこだわり、おいしさはもちろん安全面にも配慮し、信頼性の高い商品づくりに取り組んでいます。

さらなる成長をめざし、2014年には生まれ育った長野から北海道・青森という地域に視野を広げ、新たな動きをスタートさせています。信州の新鮮な農作物、北海道が生むさまざまな野菜と豊かな自然、そして青森が持つりんごというブランド資産。この新たなステージに立ち、「おいしさに、ひたすら、ひたむき」の理念のもと、自然の原料が本来持つおいしさを引き出す「農産加工技術」を生かし、農の持つ普遍的な価値を大切にしながら、選ばれる商品をつくり続けていきます。



ゴールドパック(株) 商品

ゴールドパック(株) あずみ野工場

青果物流通・加工

(株)トミイチは、北海道で250軒以上の農家と栽培契約を結び、馬鈴薯やかぼちゃ、大根などをはじめとする北海道の自然の恵みを受けた20種類近くの旬の青果物や、冷凍野菜などの加工品を大手食品メーカーをはじめとする全国のお客様に提供しています。さらに(株)トミイチと同様、北海道を中心にかぼちゃやスイートコーンなどの冷凍野菜で強みを持つ(株)林屋とのシナジーを發揮し、強力なサプライチェーンを構築。原料調達から加工・冷凍・検査までを自社で行う同社の独自技術ノウハウや幅広い流通ネットワークは、農業・食品関連事業における新しいバリューチェーンの創出に大きく貢献しています。



(株)トミイチ

農業用機械・器具

日農機製工(株)およびヒロシ工業(株)は、各種の農業関連機械・器具の製造・販売を行っています。両社が持つ独自の製品・サービスの展開のみならず、事業ネットワークを最大限に發揮し、エア・ウォーターグループとのシナジーの強化・拡大をめざしています。



日農機製工(株)ビートハーベスター

農業

農業生産法人(株)エア・ウォーター農園では、日本最大級のガラスハウスで生鮮トマトや葉菜類の生産を行う「千歳農場」と、長野県のトマト生産拠点「安曇野菜園」の2農場を展開しています。両農場では室内温度、太陽光量、灌水など、野菜栽培に適した環境を自動的に保つ複合環境制御システムのもと、安全・安心な高品質野菜を年間を通じて安定的に供給しています。これらの野菜栽培では自社グループから炭酸ガスを供給し、ガラスハウス内のCO₂濃度を野菜育成に最適な状態にコントロールするなど、産業ガスメーカーの利点を最大限に生かしています。



(株)エア・ウォーター農園

AW・ウォーター(宅配飲料水)

AW・ウォーターでは、RO膜ろ過処理を施した純水や、塩を精製する過程で採取した綺麗な蒸留水に自社製の海洋由来ミネラル成分を添加した「ミネラルウォーター」と、北アルプスの良質な地下水をボトリングした「天然水」を製造・販売。自社サーバーとのセットによる宅配サービス方式で、一般家庭・オフィスにお届けしています。



AW・ウォーター(株)信濃大町工場

その他の事業

多彩なオンリーワン技術と製品・サービスが グループの持続的成長を支えています。

経営環境の変動に左右されることのないエア・ウォーターの「全天候型経営」体制の基盤となるのが、小規模でも収益性の高い多様な事業群によるポートフォリオ戦略「ねずみの集団経営」です。「その他の事業」セグメントにおける多彩な事業の展開は、このエア・ウォーター流経営モデルの真髄とも言うべきものです。

海水という無限の可能性を秘めた資源から高品質の塩製品やマグネシアを世界に供給する海水事業、産業ガスで培った定低温管理輸送技術をベースに高付加価値のサービスを提供する物流事業など、オンリーワンの技術力、製品・サービス力を保有するグループ各社が、当社グループの持続的成長を支えています。さらに、これらの事業が既存事業や他のグループ企業とのシナジーを発揮することにより独創性の高い新ビジネスが次々と誕生しています。

(株)日本海水の讃岐工場で 塩化カリウムの製造設備が稼働

(株)日本海水は2013年12月、赤穂工場に続く塩化カリウムの製造設備を讃岐工場に完成させ、運転を開始しました。海水の有効活用を進める同社では、製塩工程で生成する苦汁(にがり)の成分中から塩化カリウムを取り出す技術を確立。これまで赤穂工場において、肥料規格に適合する高品質の塩化カリウムを商品化し、農業肥料の原料として供給してきました。讃岐工場での設備稼働にあたっては、塩化カリウムの純度を向上させる溶解洗浄工程を新たに開発・導入しており、今後は2工場体制での生産によってお客様のニーズに的確に応え、塩化カリウム事業を拡大していきます。



塩化カリウム製造設備

海水

<塩>

国内トップシェアを誇る「塩」の総合メーカー(株)日本海水は、赤穂・讃岐工場で製造する食用塩や食品加工用塩のほか、融雪塩やボイラー用塩など多様な塩製品を展開しています。また、海水資源・技術の積極活用による水処理・土壌処理吸着剤リードエフや水酸化マグネシウムなどの環境関連製品も取り扱っています。さらには塩化カリウムなど農業事業や電力事業、下水管更生事業などの分野まで幅広く事業領域を拡大しています。



一般家庭用塩

<マグネシア>

世界的な「マグネシア」ブランドであるタテホ化学工業(株)は、海水から生成される苦汁や鉱物系マグネシアを主原料に、オンリーワン技術によって高機能・高付加価値の「マグネシウム化合物」や「セラミックス製品」を製造し、幅広い産業分野に供給しています。特に高級電磁鋼板用マグネシアは、電力インフラに不可欠な重要部材として供給しています。



マグネシウム化合物

物流

エア・ウォーター物流(株)は、産業ガス事業で培った定低温輸送技術を生かし、繊細な温度管理で鮮度を保つ食品物流や、全国の血液センターで採血された血液(血漿)を運ぶ医療物流を展開しています。一般貨物分野でもシャーシ輸送から小・中ロット貨物の共同物流、3PLまでニーズに応じた幅広いサービスを展開。さらに各用途に最適な専用車両である特殊車両の設計・製作も行っています。



シャーシ輸送

エアゾール

エア・ウォーター・ゾル(株)は、専門性の高い国内3工場の生産体制と多分野にわたる研究開発力を強みとし、塗料・自動車用品分野をはじめ化粧品・医薬部外品、家庭用品まで多様なエアゾール製品をOEMで供給しています。また、自社ブランド品としてUVカットスプレーや消毒・洗浄液の展開も強化する一方、海外市場への参入や、液充填会社のグループ化など、事業構造改革を推進しています。



エアゾール自社ブランド品

NV(金属表面処理)

エア・ウォーターNV(株)は、鋼材に高品質な表面処理を行う「NV窒化」、ステンレスの耐食性を損なわずに硬度を高める「パイオナイト」など、独自の金属表面処理技術によるソリューションを提供しています。国内のみならず、中国および東南アジアでの展開拡大を推進しています。



NV処理実施例

Oリング

エア・ウォーター・マツハ(株)は、JIS規格のゴムOリングや工業用ゴム製品など、各種シール材を製造・販売しています。半導体・液晶製造装置向けの超高性能ゴムOリングをはじめ多様な産業分野に向けた独自の成型品をラインアップしています。



ゴムOリング

エコロッカ®(人工再生木材)

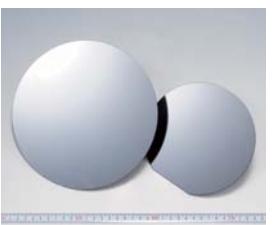
エア・ウォーター・エコロッカ(株)は、使用済みの木材・プラスチックから複合再生した新素材「エコロッカ®」を製造・販売しています。木の質感を保ちながらも強度・安全性に優れた環境負荷の小さいエコ建材として、公共施設を中心に採用が広がっています。



エコロッカ®

SiC

パワー半導体や高輝度LEDなどに用いられる「SiC基板」を独自に開発し、国内外のお客様にサンプルを供給・開始。GaN(窒化ガリウム)の成長に適した基板として、最大8インチの大口径化かつ量産化の技術確立に、エア・ウォーターが世界で初めて成功しています。



SiC基板



さらなる成長を追求し、 技術の革新と迅速な事業展開で「技術立社」を推進

エア・ウォーターでは、「戦略型技術開発テーマ」を推進する(株)エア・ウォーター総合開発研究所と、お客様のニーズに密着した「事業密着型技術開発テーマ」を推進する各カンパニー開発部門の密接な連携によって、技術の革新と事業への展開を強力に進めています。

(株)エア・ウォーター総合開発研究所は、グループ全体の技術開発をサポートするとともに中長期の技術

戦略に立脚した研究開発を担い、グループ各社が保有する多様な技術を集約して、最先端の革新的な技術を生み出しています。一方、基盤技術を応用した商品開発や市場開拓は、各事業部の開発部門が担当し、お客様のご要望に迅速に対応しています。さらなる成長に向け、今後も研究開発投資効率を最大化する新技術の開発に努め、「技術立社」を推進していきます。

研究開発領域

- ガスプロセス技術
- ガス回収・リサイクル技術
- ガス応用技術
- ウェルディング技術
- エレクトロニクス材料技術
- プラズマ表面改質処理技術
- ファインケミカル・新素材技術
- 機能性樹脂材料・炭素材技術
- 医療関連技術
- 金属表面処理技術
- コラーゲン応用技術
- 農業・食品関連技術

● (株)エア・ウォーター総合開発研究所

● カンパニー市場開発部



2013年度の主な研究開発成果

需要変動対応型 酸素供給システム

酸素使用量の変動が大きい工場や、酸素供給網が未発達な発展途上国などにおいてオンサイト供給を可能にする酸素供給システム(空気分離装置)を開発しました。たとえば、電炉の酸素使用量は変動が大きく、従来はタンクローリーなどによる液体酸素のバックアップ供給が必要でしたが、本システムはエネルギーの効率率により、需要量に応じたオンサイトでの酸素供給を可能にします。



需要変動対応型 酸素供給システム

高効率炭酸ガス回収システム

炭酸ガス濃度が低い原料ガスからも、高効率で炭酸ガスを回収できる新システムを開発しました。炭酸ガス液化精製部の断熱性を追求し、装置の小型化と電力原単位の低減を実現した本システムは、未利用資源を有効活用できるだけでなく、生産拠点のサテライト化など炭酸ガス供給網の革新にもつながる製品です。



高効率炭酸ガス回収システム

縦型遠心式低温液化ガス用ポンプシリーズ

長寿命、小型・軽量、低騒音、無漏洩、省メンテナンス性を備えた当社の縦型遠心式低温液化ガス用ポンプは、発売以来、市場から高い評価を得ています。2013年度は、防爆対応を施したLNG適応製品と安全性に優れた液体酸素適応製品を開発しました。今後は、大容量、高揚程、小型化等のシリーズ化をさらに推進し、低温液化ガスポンプ領域でのデファクトスタンダード化をめざしていきます。



縦型遠心式低温液化ガス用ポンプシリーズ

GaN基板

電力変換効率を大幅に改善するGaNなどのワイドバンドギャップ半導体が注目されています。当社が独自成膜技術を駆使して世界に先駆け実現した3C-SiC on Si基板は、SiCが高融点、かつ、GaNに近い格子定数を有することから、GaN成長用の基板に適しています。また、Siベースのため大口径生産も可能です。この3C-SiC on Si基板に最適なGaN成長技術の開発を推進し、結晶性に優れた大口径GaN基板を実現しました。



GaN基板

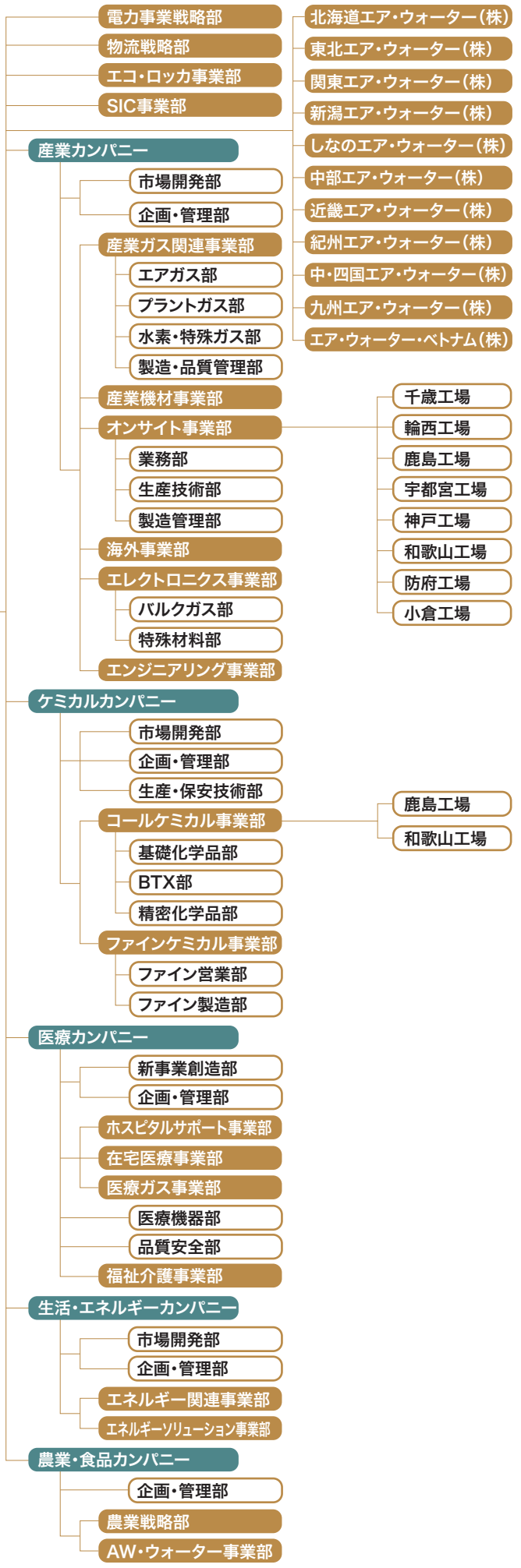
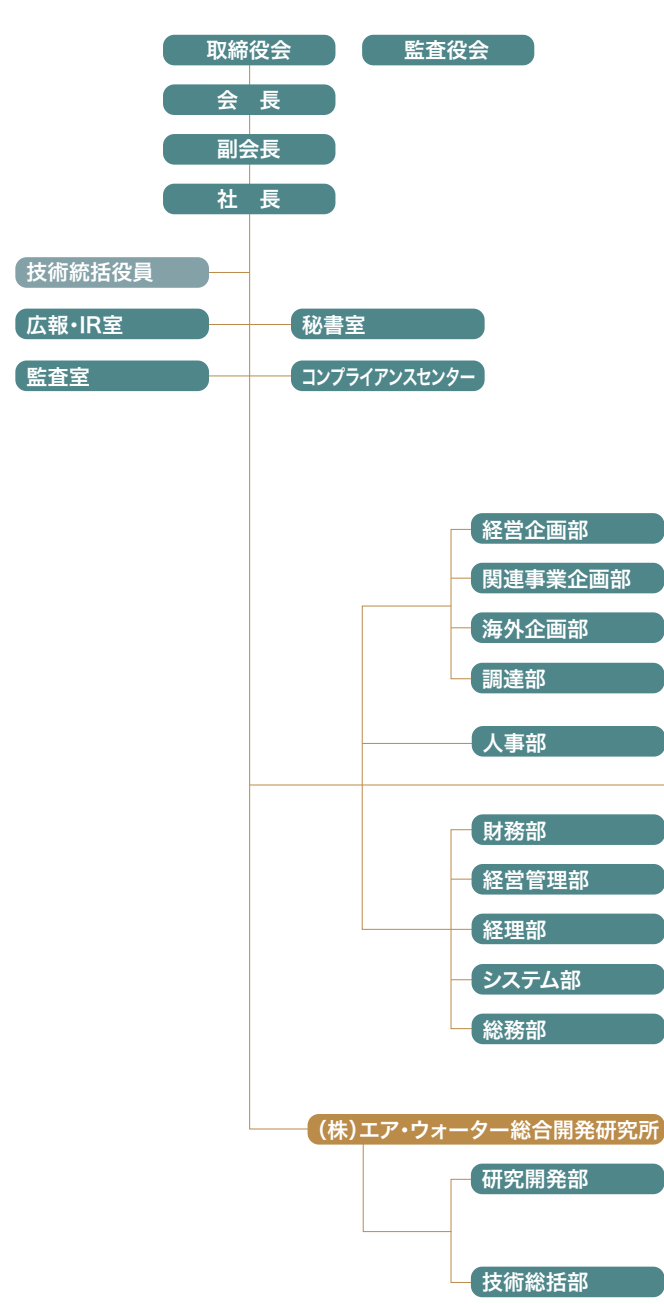
GaN(0001)標準:2.0μm厚
窒化物パuffers 約1.5μm
3C-SiC(111)
2"~6"Si(111)Sub.

酸素溶解装置

散気管に比べ数倍効率よく酸素ガスを水に溶解させ、溶存酸素量を向上させることのできる装置を開発しました。シンプルな構造のため目詰まりせず、負荷変動時にも容易に追従が可能で、安定した性能を発揮します。これらの特長を生かし、魚介類の養殖、植物栽培、排水処理といった、食品、農水産、環境分野へのガスアプリケーションとして展開していきます。



酸素溶解装置



コンプライアンスセンター

- 保安推進部
- 環境推進部
- 医療安全推進部
- 食品安全推進部
- 技術管理部

名称	所在地	事業内容
■地域事業会社		
北海道エア・ウォーター(株)	札幌市中央区北3条西1丁目2番地	産業ガス・医療用ガス、LPガス・灯油、天然ガス、および関連機器の販売
東北エア・ウォーター(株)	仙台市若林区卸町東1丁目1番3号	産業ガス・医療用ガス、LPガス・灯油、天然ガス、および関連機器の販売
関東エア・ウォーター(株)	東京都港区虎ノ門3丁目18番19号	産業ガス・医療用ガス、LPガス・灯油、天然ガス、および関連機器の販売
新潟エア・ウォーター(株)	新潟県阿賀野市六野瀬字井戸瀬436番地5	産業ガス・医療用ガス、LPガス・灯油、および関連機器の販売
しのエア・ウォーター(株)	長野県松本市梓川俣3878番地1	産業ガス・医療用ガス、および関連機器の販売
中部エア・ウォーター(株)	名古屋市長区大根山2丁目132番地	産業ガス・医療用ガス、LPガス・灯油、および関連機器の販売
近畿エア・ウォーター(株)	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	産業ガス・医療用ガス、および関連機器の販売
紀州エア・ウォーター(株)	和歌山市雑賀崎2017番地29	産業ガス・医療用ガス、および関連機器の販売
中・四国エア・ウォーター(株)	広島市南区段原南1丁目3番53号	産業ガス・医療用ガス、および関連機器の販売
九州エア・ウォーター(株)	福岡市博多区博多駅東2丁目13番24号	産業ガス・医療用ガス、および関連機器の販売
※産業ガスの一部には医療用ガスも含まれます		
■産業ガス関連事業		
北海道エア・ウォーター・エンジニアリング(株)	札幌市東区北丘珠3条3丁目2番16号	各種ガス発生装置、貯槽、配管の工事・検査・メンテナンス
苫小牧共同酸素(株)	北海道苫小牧市弥生町1丁目17番24号	産業ガスの製造・販売
共同炭酸(株)	北海道室蘭市本輪西町1丁目1番7号	液化炭酸ガス・ドライアイスの製造・販売
新日化エア・ウォーター(株)	東京都千代田区外神田4丁目14番1号	産業ガスの製造・販売(オンサイト供給含む)
エア・ウォーター炭酸(株)	東京都港区新橋4丁目21番3号	液化炭酸ガス・ドライアイスの製造・販売
エア・ウォーター・ハイドロ(株)	東京都港区虎ノ門1丁目15番12号	工業用水素ガスの製造・販売・リサイクル等
大宝産業(株)	東京都港区芝公園1丁目6番7号	産業ガス・医療用ガスおよび関連機器の販売、ならびに貿易・調達事業
阿部電材(株)	東京都港区浜松町2丁目13番7号	電気・電子材料の販売、輸出入
日本ヘリウム(株)	横浜市鶴見区駒岡2丁目9番3号	ヘリウムの輸入・販売
(株)プリンテック	神奈川県厚木市戸室5丁目32番1号	電子材料、半導体基板の製造・販売
竹中高圧工業(株)	名古屋市長区元塩町5丁目8番地	産業ガスの販売
大同エアプロダクツ・エレクトロニクス(株)	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	産業ガス・特殊ガス・特殊化学品、ならびに環境装置・各種供給装置の製造・販売
神鋼エア・ウォーター・ガス(株)	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	産業ガスの販売
エア・ウォーター・ペルバル(株)	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	機能性樹脂ペルバルおよび各種加工品、窒素ガス発生装置の製造・販売
エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)	堺市西区築港新町2丁目6番40	各種ガス発生装置・ガスアプリケーション、LNG関連機器の設計・製作・販売
エア・ウォーター・メンテナンス(株)	堺市西区築港新町2丁目6番40	オンサイト関連設備のメンテナンス
(株)クリオ・エアー	堺市西区築港浜寺町4番地	産業ガスの製造・販売
(株)ガスネット	堺市堺区高須町2丁目2番2号	ガス容材の販売
(株)堺ガスセンター	堺市堺区匠町1番地	産業ガスの製造・販売
(株)ダイオー	大阪府枚方市中宮大池2丁目10番1号	産業ガス・医療用ガスの製造・販売および関連機器の販売
日本ファインガス(株)	大阪府高石市高砂1丁目4番地	ヘリウム等の特殊ガスの製造・販売
泉北酸素(株)	大阪府高石市高砂1丁目5番地	産業ガスの製造・販売(オンサイト供給含む)
神鋼エア・テック(株)	神戸市灘区原田通2丁目3番16号	産業ガスの製造・販売(オンサイト供給含む)、窒素ガス発生装置の販売
神鋼エア・ウォーター・クライオプラント(株)	神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号	深冷空気分離装置の設計・製作・メンテナンス
松山酸素(株)	松山市西垣生町2877番地	産業ガス、LPガスの製造・販売
井上喜(株)	福岡市博多区上呉服町10番1号	半導体製造薬品、化学工業薬品、合成樹脂等の販売および輸出入
■ケミカル関連事業		
サンケミカル(株)	埼玉県八潮市大字新町29番地の3	機能性化学品(医薬中間体・電子材料)の受託合成
(株)シーケム	東京都千代田区外神田4丁目14番1号	電気炉電極ピッチコークス、ナフタリン・無水フタル酸等の製造・販売
■医療関連事業		
斎藤医科工業(株)	栃木県大田原市峰巣767番地80	医療用各種注射針の製造・販売
(株)医器研	埼玉県狭山市新狭山2丁目12番27号	医療用酸素濃縮器の製造・メンテナンス
エア・ウォーター・メディカル(株)	東京都品川区西五反田2丁目12番3号	医療用機器の販売、レンタルおよび保守サービス
ヘルスケアテック(株)	東京都品川区西五反田2丁目12番3号	医療機関向けSPDソリューションサービス
エア・ウォーター・メディエス(株)	東京都品川区西五反田2丁目12番3号	医療機器・部品・材料および繊維製品の滅菌受託
美和医療機械(株)	名古屋市中区千代田5丁目5番15号	手術室・ICU内装工事、医療用設備機器の製造・販売
西村器械(株)	京都市中京区河原町通夷川上ル指物町330番地	循環器系医療機器、透析システム機器、手術器具の販売・メンテナンス
デンケン・ハイデンタル(株)	京都市山科区大宅石町130	歯科医療機器・理化学機器・電子応用機器の設計・製作・販売および歯科材料の製造・販売
精研医科工業(株)	大阪府摂津市鳥飼上3丁目1番28号	手術室内装事業(医療機器類の製造・設置・メンテナンス、消毒・清掃)
エア・ウォーター防災(株)	神戸市西区高塚台3丁目2番地16	医療用ガス配管工事、呼吸器、消火装置等の設計・製造・販売
※ほかエネルギー地域事業会社6社(北海道)		
■エネルギー関連事業		
エア・ウォーター・ハローサポート(株)	札幌市中央区南19条西6丁目3番5号	福祉介護用品の販売・レンタル、ミネラルウォーターの製造・販売
エア・ウォーター・テクノサプライ(株)	北海道北広島市大曲工業団地7丁目3番地2	LPガス、産業ガスの充填・配送および保安業務
■農業・食品関連事業		
春雪さぶー(株)	札幌市白石区菊水5条2丁目3番17号	食肉加工品(ハム・デリカ)、素材系冷凍食品、調理用ソース・スイーツ商品の製造・販売
(株)トミイチ	北海道旭川市永山北1条10丁目13番5号	加工用青果物の卸売、加工および冷凍食品等の販売
日農機製工(株)	北海道足寄郡足寄町郊南1丁目13番地	農業機械の製造販売
ゴールドバック(株)	東京都渋谷区桜丘町8番9号	果実・野菜飲料および清涼飲料水などの製造・販売
■その他の事業		
エア・ウォーター物流(株)	札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	高圧ガス物流、一般貨物物流、食物流、医療・環境物流、流通・加工サービス
北海道車体(株)	北海道北広島市大曲工業団地2丁目7番地3	各種トラックボディーの設計・製作・販売、修理、および各種車両の車検整備
エア・ウォーター食品物流(株)	仙台市宮城野区扇町5丁目9番8号	食品低温物流、倉庫保管・庫内作業の請負
サミット小名浜エスパワー(株)	福島県いわき市小名浜字宇津2番地の4	電力・蒸気の製造・販売
エア・ウォーター・ソル(株)	東京都千代田区神田東松下町47番1号	エアソール製品のOEM供給、ならびに自社ブランド品の製造・販売
(株)日本海水	東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地5	塩および副産物の製造・販売、環境事業
ジャパンソルト(株)	東京都中央区京橋1丁目1番1号	塩および化成品の仕入・販売
K&Oエナジーグループ(株)	東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号	ガス事業、ロード事業等を行う子会社の経営管理
パナソニックエコソリューションズAWE(株)	東京都品川区大井1丁目28番1号	ユニットバス・建設資材の販売・工事
東日本エア・ウォーター物流(株)	横浜市都筑区川向町1020番地	高圧ガス物流、一般貨物物流、食物流、医療・環境物流、流通・加工サービス
エア・ウォーター工業(株)	神奈川県大和市深見東1丁目3番29号	ガス機器、医療機器等の設計・販売
アクアインテック(株)	静岡県掛川市伊達方1162番地の1	配管更生事業及び水処理機械製造、環境機材販売
エア・ウォーター・マッハ(株)	長野県松本市梓川俣4009番地1	工業用ゴム製品および樹脂製品の製造・販売
エア・ウォーター薬化(株)	和歌山市北島325番地	工場廃液・廃油・廃ガスの処理・分析サービス
(株)エア・ウォーター企業	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	ファイナンス・リース業、保険代理業
エア・ウォーター・ソフテック(株)	大阪市中央区南船場2丁目12番8号	コンピューターシステムの開発・販売
西日本エア・ウォーター物流(株)	大阪府摂津市鳥飼上3丁目5番3号	高圧ガス物流、一般貨物物流、食物流、医療・環境物流、流通・加工サービス
エア・ウォーター・NV(株)	兵庫県尼崎市中浜町1番地の8	NV窒化処理による金属表面硬化処理サービス
タテホ化学工業(株)	兵庫県赤穂市加里屋字加藤974番地	酸マグネシウム、電融マグネシア、水酸マグネシウム、セラミック製品の製造・販売
浦島海苔(株)	熊本県玉名市寺田124番地	海苔製品の製造・販売



会社名	エア・ウォーター株式会社 / AIR WATER INC.
本社所在地	大阪市中央区南船場2丁目12番8号 TEL 06-6252-5411 FAX 06-6252-3965
(登記上の本店所在地)	札幌市中央区北3条西1丁目2番地
(東京事務所)	東京都港区虎ノ門3丁目18番19号
設立年月日	1929年9月24日
資本金	32,263百万円
従業員数	9,558名(連結)
ホームページURL	http://www.awi.co.jp/

代表取締役会長 CEO・最高経営責任者	青木 弘
代表取締役副会長	豊田 昌洋
代表取締役社長 COO・最高業務執行責任者	今井 康夫
専務取締役	赤津 敏彦 / 藤田 昭 / 豊田 喜久夫 / 中川 淳一
常務取締役	唐渡 有 / 松原 幸男 / 町田 正人
取締役	堤 英雄 / 永田 實 / 曾我部 康 / 村上 幸夫 白井 清司 / 長谷川 雅之 / 波多野 和彦 / 坂本 由紀子
常勤監査役	片野 俱宏 / 中川 康一 / 平松 博久
監査役(非常勤)	関山 守洋 / 高島 成光

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日鐵住金株式会社	10,000	5.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,123	4.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,059	4.06
三井住友信託銀行株式会社	7,936	3.99
JP MORGAN CHASE BANK 385632(常任代理人 株式会社みずほ銀行)	7,287	3.67
株式会社三井住友銀行	6,196	3.12
エア・ウォーター取引先持株会	5,202	2.62
全国共済農業協同組合連合会	4,780	2.41
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT(常任代理人 香港上海銀行)	4,489	2.26
株式会社北海道銀行	4,113	2.07

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同電話照会先	フリーダイヤル:0120-782-031
同ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告により行います。 ※公告掲載の当社ホームページURL http://www.awi.co.jp/ir/koukoku.html
上場金融商品取引所	東京、札幌